



1月 給食だよ



文責：牛深学校給食センター 鶴長

あけましておめでとうございます。

冬休みは楽しく過ごすことができましたか？新しい1年が始まりました。
今年もみなさんが、元気に楽しく学校生活を送れるよう、おいしく栄養
満点な給食づくりに励んでいきます。まだまだ寒い時期が続きます。
手洗いうがい、健康的な食事、十分な睡眠を心がけ、体調を整えるよう
にしましょう。



★ 学校給食アイディアメニュー ★

中学校の生徒が考えたアイディアメニューが給食に登場します！お楽しみに♪
(調理の都合上少しアレンジしています。)



1月21日(水)「さつまいもの甘辛炒め」
1月22日(木)「豆腐グラタン」
1月23日(金)「鶏肉の雑節から揚げ」



12月

給食を紹介します



天草宝島デー

天草産豚肉のしょうが焼き

天草産キャベツのコールスローサラダ



図書コラボメニュー

物語の中に出てくるいろいろな料理を、給食で紹介しました。
どれもおいしい料理たちでした。



12月4日(木)
「精霊の守り人」
上橋菜穂子/偕成社 より
タンダの山菜なべ



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

に ほん がっ こう きゅう しょく

日本の学校給食のあゆみ



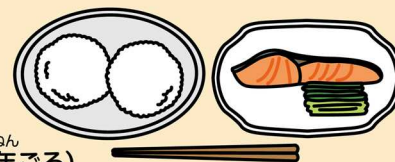
がっ こう きゅう しょく はじ

学校給食の始まり



明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供
したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたち
が家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していまし
た。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学
校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止
せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり
や ざかな
焼き魚
つけもの
漬物
めいじ
(明治22年ごろ)



五色ごはん
えいよう
栄養みそ汁
たいしょう
(大正12年ごろ)



し えん ぶつ し

がっ こう きゅう しょく さい かい

支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12
月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学
校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていまし
たが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とす
ることになりました。

ミルク
トマトシチュー
しょうわ
(昭和22年ごろ)



カレーライス
ぎゅうにゅう しお
牛乳・塩もみ
たまご
ゆで卵
しょうわ
(昭和51年ごろ)



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わら
ずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」と
いった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食
生活を送ることができるように、学校給食は「教材」としての役割も担っています。